

# 第5章 生産要素が貿易を決める ヘクシャー=オリーン・モデル

伊藤万里・田中鮎夢『現実からまなぶ国際経済学』（有斐閣、2023年）

作成：田中鮎夢

2025-10-21

## 問題1から問題8までの設定

いま、2国（アメリカとメキシコ）が、生産要素に大卒労働者と高卒労働者を用いた2財（PCと衣服）の生産について、以下の表のような生産技術（固定技術係数）と生産要素賦存量が与えられている。以下の問題1から問題8に答えなさい。

生産要素	大卒集約財（PC）	高卒集約財（衣服）
	1単位当たり	1単位当たり
大卒労働者	2人	1人
高卒労働者	2人	3人

生産要素賦存量	アメリカ	メキシコ
大卒労働者	1,200人	600人
高卒労働者	1,800人	1,200人

### 問題1. 生産要素賦存比率の判定

アメリカとメキシコの大卒労働者と高卒労働者の比率（大卒比率）に基づき、アメリカはどちらの豊富国と見なされるか。

- A. 大卒豊富国
- B. 高卒豊富国
- C. どちらでもない

### 問題2. 財の要素集約度の判定

PC（パソコン）と衣服について、大卒労働者と高卒労働者の比率（大卒/高卒）を比較した場合、高卒集約財はどちらか。

- A. PC
- B. 衣服
- C. 両方とも高卒集約財である
- D. どちらでもない

### 問題 3. ヘクシャー＝オリーン定理の予測

ヘクシャー＝オリーン定理に基づき、大卒豊富国であるアメリカは、比較優位を持つ PC と衣服のどちらを輸出すると予測されるか。

- A. PC
- B. 衣服
- C. 両方輸出する
- D. 貿易は行われない

### 問題 4. アメリカの閉鎖経済時の PC の相対価格

アメリカの完全雇用点における生産量は (PC 450 個, 衣服 300 個) である。効用関数  $u = xy$  のもとで、閉鎖経済時における PC の相対価格  $P_{PC}/P_{衣服}$  はいくらか。

- A. 0.5
- B. 0.67 (2/3)
- C. 1.5
- D. 2.0

### 問題 5. 要素価格均等化定理 (FPE) の前提

ヘクシャー＝オリーン・モデルの長期的な予測として知られる要素価格均等化定理 (FPE) が成り立つとすれば、国際貿易によって何が均等化すると予測されるか。

- A. 各国の生産技術
- B. 各国の生産要素賦存量
- C. 財の価格と生産要素の価格の両方
- D. 財の価格のみ

### 問題 6. ゼロ利潤条件と高卒賃金の決定

アメリカの閉鎖経済時において、PC 価格  $P_{PC} = 400$ 、衣服価格  $P_{衣服} = 300$  であると仮定し、財市場が完全競争であるとする。このとき、大卒労働者の 1 日当たりの賃金 ( $r$ ) が 150 である場合、高卒労働者の 1 日当たりの賃金 ( $w$ ) はいくらか。

- A. 25
- B. 50
- C. 100
- D. 150

### 問題 7. ストルパー＝サミュエルソン定理 (S-S) の国内格差への影響

大卒豊富国であるアメリカにおいて、貿易により大卒集約財である PC の相対価格が上昇した場合、ストルパー＝サミュエルソン定理は、国内の大卒労働者 ( $r$ ) と高卒労働者 ( $w$ ) の賃金格差についてどのように予測するか。

- A. 格差は縮小する (大卒賃金が下がり、高卒賃金上がる)
- B. 格差は拡大する (大卒賃金上がり、高卒賃金下がる)
- C. 賃金水準全体が上昇するため、格差は変化しない
- D. 賃金格差は国外との貿易パターンによって決定される

## 問題 8. リプチンスキー効果の予測

アメリカにメキシコから 300 人の高卒労働者が移住し、高卒労働者が 1800 人から 2100 人に増加したとする。リプチンスキー定理に基づき、この結果として、大卒集約財である PC の生産量 ( $x$ ) と高卒集約財である衣服の生産量 ( $y$ ) はどのように変化するか。

- A. PC 生産量、衣服生産量ともに増加する。
- B. PC 生産量、衣服生産量ともに減少する。
- C. PC 生産量は減少し、衣服生産量は増加する。
- D. PC 生産量は増加し、衣服生産量は減少する。

## 問題 9 と問題 10 の設定

以下の問題 9 と問題 10 は、演習問題 5.1 の設定を使用する。

2 国（日本とインド）、2 財（工業品と農産品）、2 生産要素（資本と労働）の世界を考える。

表. 財 1 単位を生産するのに必要な労働と資本

	工業品 1 個当たり	農産品 1 個当たり
労働	2 人	4 人
資本	5 台	5 台

表. 各国の生産要素賦存量

	労働	資本
日本	120 人	180 台
インド	150 人	200 台

## 問題 9. 日本の生産要素賦存の判定

日本とインドの生産要素賦存量を資本労働比率（資本/労働）で比較するとき、日本は資本豊富国・労働豊富国のいずれか。

- A. 資本豊富国
- B. 労働豊富国
- C. どちらでもない

## 問題 10. ヘクシャー＝オリーン定理の適用（日本）

ヘクシャー＝オリーン定理に従えば、日本は工業品と農産品のどちらを輸出すると予測されるか。（ヒント：工業品は資本集約的であり、農産品は労働集約的である）

- A. 工業品
- B. 農産品
- C. 両方輸出する
- D. 貿易は行われない